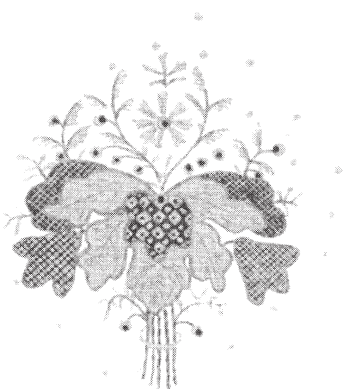


千草会

題字 原あやめ



27

年号

■目次

- 学院長挨拶 1頁
- 創立85周年記念事業 2・3頁
- 在校生より 4頁
- 卒業生だより 5頁
- 学院ニュース 6・7頁
- 研修旅行／会計報告／就職他 ... 8頁
- 学校案内 9頁
- お知らせ／千草会役員 10頁

学院長挨拶



学院長 鈴木 貞雄

輝き

会員各位におかれましては益々ご健勝のことと存じます。常日頃、教育活動発展のために多大なるご協力・ご支援を賜り心より厚くお礼申しあげます。

風光る季節と共に日々精進された25名の専門士が巣立っていきました。また、見えないうものを見る目を持ち、見えないものを知る心を持つとうと感性豊かな新入生46名を迎えました。昨年、創立85周年記念式典の折、縁起物の標（ゆずりは）の話をしました。が、大樹の標は先輩から後輩へと受け継がれ、伝統ある山脇はさらに飛躍致しております。

今日も技術修得の音色が隣の教室から聞こえてきます。怠ることなく努力することが大切で、「皓玉瑕無し、琢磨せば輝きを増

す」辛いことには意味があると感ずることが大切であると思う。人間にはいろいろな力が与えられている。その中で最も素晴らしい力は物事に意味を与える力であろう。その力は山脇で学んだ専門力と思う。苦しみさえ価値を見出し、ありがたいと思えるのが人間です。人生において困難や逆境に直面しても、自暴自棄にならず、謙虚に自己を振り返り、苦しみに意味を見付けると自ら前向きに生きられます。日々、志を高く精進してほしい。

人間は一人では生きられません。相手を敬えば和になる。和敬清寂である。自らが愛と慈悲の心と言葉と態度でヒトに接し、誠実な人間関係を築くことこそ大切です。技術向上と合わせコミュニケーション能力などの人間力を磨くことも重要です。

皆さん、どうか未来に向かって、夢を抱いて、しっかりと歩んで下さい。私は生かされている。だからどうするか。何をすべきか。自分の可能性を信じて、たゆみなく努力を続けければ夢は叶います。これからも社会に貢献する強い意志を持った専門士であることを望みます。

各位のご健康と千草会の発展をお祈り申し上げます。挨拶とさせて頂きます。

創立85周年記念事業

『未来へ繋がる輪の集い』

平成26年11月1日(土) ホテルオークラ別館アスコットホールに於いて、山脇服飾美術学院創立85周年記念事業を挙行いたしました。

当日は来賓をはじめ旧教職員、卒業生、在校生、総勢331名の方々が出席されました。

【第一部】理事長挨拶 清水 カツ子

本日は、学院の「創立85周年記念」と致しまして、ホームカミングデーの意味合いも込め「未来へ繋がる輪の集い」と題し、同窓生、在校生並びに、役員、教職員相互の親睦と交流を図ることを目的としまして、皆様にご案内を差し上げましたところ、かくも大勢の皆様方にご出席を賜り、主催者を代表し心より厚く御礼申し上げます。



思い起こしますと昭和の初期、服飾界の先駆者として名を馳せた山脇敏子先生により、本学院の前身であります山脇洋裁学院を創立したことに始まり、その

ご意志を原あやめ先生が受け継がれ、今日まで幾多の改編を経て、現在では修業年限が3年課程となり、ビジュアルデザイン科、スペーデザイン科、ジュエリーデザイン科の3学科を擁する「デザインの専門学校」として、永きにわたり数多くの歴史を刻んで参りました。今年3月には、3年制教育課程になって初めての卒業生を実社会に送り出したところでございます。

いづれ卒業生の中から、またこれから卒業される学生さんには、山脇で培った人間性と技術力を思う存分發揮していただき、世界に名を馳せるデザイナーとして活躍していただけることを、創始者の山脇敏子先生、原あやめ先生も温かく見守っておられることと拝察いたします。

そのためには、伝統ある山脇の名に恥じない学校運営、そしてこれまで多くの卒業生を輩出してきた山脇を、未来永劫の時代まで繋げていかなければなりません。そのことを大きな使命として現教職員は勿論のこと、諸先生並びに皆様方のお力添えを頂きながら、前向きに活動していく所存でございます。

創立85年の記念日にあたります本日を一つの通過点として、更なる山脇の歴史を一つひとつ着実に積み上げて参りたいと思っております。

本日お集まりの皆様方には、今後とも山脇の将来を温かく見守って頂き、どんな些細なことでも結構でございますので、忌憚のないご意

見、ご指導を賜りましたら幸いです。本日は、特別ゲスト並びに芸人さんによりますトークショーなど、盛り沢山の催し物を企画しました。

皆様方におかれましては、お時間の許す限り最後までお互いの親交を温めていただき、大いに您談なされ、大いに笑っていただき、そして大いに楽しいひと時をお過ごしになって下さい。

本日は、誠に有り難うございました。

続いて、真矢みきさんのトークショー

女優・元宝塚歌劇団花組男役トップスター

約1時間にわたり子供時代から現在のお仕事(ドラマ・舞台・映画)私生活について幅広くお話しされました。その中で男役についてはその時代にあった試行錯誤、ここまで続くには思想と発想の柔軟性が必要、知らない人の視線で逆発想の男役を演じる感覚が重要、かっこいい人は男でも女でもチャームिंगな事が大切だと話されました。

クリエイティブな事にも興味があり、専門学校で学んでいる皆さんはあこがれの学歴だと……。

トップスターの重責、後輩の育成、宝塚の維持等々大変さが伝わって来ました。

華やかな宝塚時代とは又違う素敵な素顔をを見せていただきました。

【第二部】千草会会長挨拶 片桐 清子

本日は沢山の方にご出席頂きましてありがとうございます。ありがとうございます。

先程理事長よりお話がありましたように今年には創立して85周年になります。長い年月の中で何世代にもわたる人々が教え、学び、巣立っていったことはこの上もなく嬉しい限りです。

何十年振りに学院を訪ねた時は時代の流れの中で洋裁、手芸、編物などの科が無くなり寂しい気も致しましたが、現在は男女共学になり、ビジュアルデザイン、スペースデザイン、ジュエリーデザインとパソコンを使つての授業に今の時代を強く感じます。

在校生の方がとても明るく活気があり、幾つになつても学び舎に足を運ぶという事はワクワクします。そして、一生懸命学んでいる姿に感動と懐かしさが湧いてきます。

私、個人的にはこの年齢になつて時間が自由になつた時、山脇で学んできた事が非常に役に立っていると思つております。手仕事の楽しさ、良い物へのこだわり等々、いろいろ興味を持って今を楽しんでいます。

若い方は勿論のこと、歳を重ねても輝いて生きていきたいと願つております。

今後とも千草会が大きな輪になつて、90周年、100周年と続きますよう、宜しくお願ひ致します。

第二部開会の挨拶とさせていただきます。どうぞお楽しみください。



歓談、飲食そして梅小鉢さんのお笑いライブ、続いて抽選会もあり、皆様大いに盛り上がりました。おいしい料理が次々と運ばれ、楽しいひと時を過ごしました。

▼学院長挨拶 鈴木 貞雄

本日は山脇の輪の集いということで、多くの方にご参加頂き、誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。そして常日頃山脇美術専門学院に対しまして温かいご支援とご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

実は私事になつてしまいましたが、毎年自宅でお正月に神棚に飾るものがあります。シダの仲間でウラボロという植物です。



本学院の中庭にもそれと同じ種類のものがあります。ウラボロですので裏が白です。自分の心は真っ白、潔白、綺麗という意味です。その葉は三枚が繋がっています。言うなれば、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんが同じ元で繋がって、代々受け継がれて行く長寿植物です。

それともう一つ、今朝自宅から採ってきた楨（ゆずりは）です。これが今回の記念プロジェクトのデザイン（ジュエリーデザイン科）の元になつている葉です。これを神棚に供えます。常緑樹なので、年中青々として10メートル以上ある大木となります。この葉は春先に今まであった葉の付け根から新芽が出て若葉になります。するとその古い葉が緑のまま落ち交替します。3月から4月頃で学校とまったく同じです。入れ替わった葉がまた成長してこの様に85年、90年、100年と伝統ある山脇が永遠に山脇として存在して行きます。こういう所以と謂われのある楨を付けて頂いて、何かのときにこういうお話をして頂くと、より重みのあるプレゼントになろうかと思ひます。それを記念の一つとして頂きたいと思ひます。



主催 学校法人 山脇服飾美術学院

共催 山脇美術専門学院同窓会（千草会）

在校生より



ビジュアルデザイン科

《1年》川原井 緑蘭

かわらい ろらん

Visual design

入学から2ヶ月が経ち、電車での通学や都会の風景にも慣れてきました。

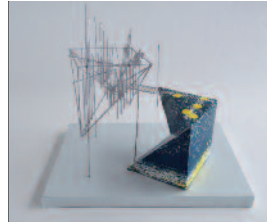
山脇美術専門学院への進学は自分にとってベストだったと思います。高校を出て社会に出る前に、就職に向けてスキルや人間性を磨く3年間、やりたい事が見えてきた私にとって、毎日の授業が楽しく新鮮です。

数々の授業を通して自分の心が豊かになったと感じます。複数の課題を同時に行うことで、多くの視点や感覚を意識できるようなったのが、おもしろさや楽しさを発見することが多くなりました。スキルだけに偏らず創造力を鍛える、山脇のカリキュラムのおかげです。

クラスメイトを始め学内の人々は皆穏やかで、毎日の登校が幸せです。この環境の中でたくさんさんの挑戦をして、豊かなデザインを生み出せるようになり、社会に役立つことがこれからの自分の目標です。



基礎デザイン「静物着彩」



天気立体「どしゃ降り」



スペースデザイン科

《2年》荒川 遥

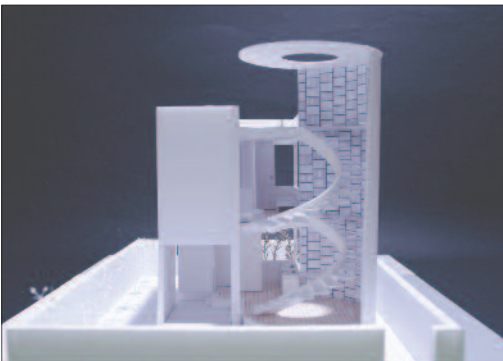
あらかわ りょうか

Space design

2年生に進級し、学院生活も折り返しとなりました。学院に入学する以前は、空間デザインに関する知識はほとんどなく、ゼロからのスタートでしたが、1年間授業を受けていくなかで着実に基礎を身につけることが出来ました。また、授業を通して自分のアイデアをかたちにすることの楽しさを知ることが出来ました。1年次の進級制作課題ではなかなか考えがまとまらずたくさん悩みましたが、講師の先生方に助言をいただきながら、図面や建築模型など具体的ななかたちとして作品が出来上がったときは達成感も大きくとても嬉しかったです。

日々の生活では、尊敬できる講師・職員の方々、気が置けない友人に囲まれ充実した学校生活を送っています。

学生としての貴重な時間を無駄にせず、社会人になったときに活かせる経験や勉強を、この山脇でこれからも続けていきたいと思えます。



私の家「図書と暮らす家」



ジュエリーデザイン科

《3年》刘 立立

りゅういち りゅうりゅう

Jewelry design

私は4年前に中国から来て、岐阜で日本語を勉強しました。細かい手作業と工芸が好きで、山脇に興味を持ちました。体験授業でリングを一本作り、その達成感から入学する事を決めました。入学前は日本人と喋る機会が少なく、入学後の数ヶ月は辛かったです。2年間の学生生活で、授業や友人関係を通じ、日本語にも自信が持てるようになりました。

ジュエリーの勉強はとても楽しく、特に石留めが大好きです。休日には宝石を選んだり、留め方を研究しています。宝石は人の様に色々な性格があります。宝石と知り合い友達になる様な日常を送っています。友達から頼まれたジュエリーを作ったり、修理もしています。山脇で過ごす毎日はとても充実しています。

今の夢は自分のハイジュエリーブランドを立ち上げることです。その為に、高い技術力や社会経験が不可欠だと思つので、日本で就職して色々なスキルを身につけて、いつか自分の夢を叶えたいと思えます。



パヴェセッティング「ブルメリア」

卒業生だより



●ビジュアルデザイン科 2008年度卒業 阿部 瞳

株式会社 トーモ

仕事内容を教えてください

Webデザインのディレクションです。制作の前にクライアントと打ち合わせをし、相手がどのようなものを求めているかを聞いたり感じ取ったりして、デザインに落とし込むという作業をしています。また、使用するキャラクターや挿絵などのイラストを、パソコンを使って自分で描いたりもしています。

やりがいを感じるのとはどんな時ですか？

私が意見や提案を出した時に「阿部さんが言うなら大丈夫ですね！」とっていただけることがあり、信頼してもらえているんだと嬉しく感じます。まだ2年目ですが、これからももっと頑張って、クライアントやその向こう側にいるユーザーの期待に応えたいと思っています。

仕事をする上で、大切にしていることは何ですか？

Webと言っても対面であることに常に意識しています。Webサイトは目に見えない向こう側にいる人に贈る「プレゼント」。そのプレゼントを相手に気に入ってもらうにはどうすればいいのかを考えながら制作しています。

大変だと思うことはありますか？

今はスマホサイトが強い時代。より多くの人にアクセスしてもらえよう、新しい技術を日々勉強して取り入れるようにしています。アイデアを数多く出すことが大変だと思うこともありますが、それらの課題をひとつひとつ乗り越えることにより、自分自身に力がついていることを実感する毎日です。

●スペースデザイン科 2007年度卒業 宇都宮 英介

(旧インテリアデザイン科)

株式会社 セイ

仕事内容を教えてください

新規やリニューアルオープンする店舗のデザインをする会社で、インテリアデザイナーとして働いています。何もない空間に、どんなデザインのものをどこに配置するかをクライアントと打ち合わせをしながら、決めていきます。そのお店のブランドコンセプトや、対象の客層や地域性を考慮しながら、作り手である私の思いも込めて形にしていきます。

やりがいを感じるのとはどんな時ですか？

やりがいは、何と言っても思いが形になることですね。デザインを考えることも楽しいですが、やはり、最終的に形になった空間をこの目で見たときが一番嬉しいです。

インテリアデザイナーになるきっかけは何ですか？

高校生の時見た映画で、主人公が座っている椅子を見て「かっこいいな」と思ったのがきっかけです。その時期は、インテリアデザイナーが一般人の部屋の模様替えをする番組が流行っており、「こんな仕事もいいな」と思いました。

仕事をする上で、大切にしていることは何ですか？

クライアントとのコミュニケーションを大切にしています。クライアントとは、入念に打ち合わせを行い、いかにしてイメージを上手に伝えるかを工夫しています。また、デザインに関しては、常に見たことがないようなデザインを創るということを意識し、日頃から展示会やコンテンツポラリーアート、写真展などに足を運び、観察しています。



●ジュエリーデザイン科 2005年度卒業 相場 京子

(旧ジュウリーアート科)

UNPEU tokyo

仕事内容を教えてください

2010年に独立し「UNPEU tokyo」というブランドを立ち上げました。オリジナルの雑貨、アクセサリ、ジュエリーの企画からデザイン、製造、卸、販売までこなしています。現在の取引先は国内外合わせて60店舗ほどですが、独立当初は試行錯誤の連続でした。2011年の東日本大震災を機に、自分の取り組みを再度考え直し「不思議な物語に登場する架空の森」をコンセプトに再生木材を使った商品作りをしています。また売り上げの一部で木を植え、森を育てる植林プロジェクトを支援しています。

やりがいを感じるのとはどんな時ですか？

お客様から、嬉しいメッセージをいただいた時には、とてもやりがいを感じ励みになります。今は、自分が目指してきたことが少しずつ形になって、軌道に乗ってきたところです。お客様が喜ぶ姿を思い浮かべながらデザインを考えることが楽しいですね。また植林プロジェクトを支援しているため、自分の仕事を通じ社会貢献が出来ることに喜びを感じています。



ナゴヤクラウド 日本酒ラベルデザインコンテスト

名古屋にある酒蔵のうち4蔵が合同で、自社で醸造している日本酒の瓶に貼る「ラベルデザイン」を募集。名古屋の地酒により親しみや、普段あまり日本酒を手にとらない方にも楽しんでもらえることを目的としています。採用されたラベルが貼られた商品は酒屋や飲食店にて販売されます。

このコンテストにビジュアルデザイン科3年生が授業課題（授業名：グラフィックデザイン、講師：亀井先生）として参加しました。応募総数652の中から見事、中島恵玲さんが優秀賞を受賞、また10月に行われた名古屋最大のまつり「名古屋まつり」のイベントの中で表彰式が行われました。



名古屋まつりメインステージにて



《優秀賞》日本酒ラベル商品化
ビジュアルデザイン科3年次
中島 恵玲



第15回デザイングランプリ TOHOKU 2014

デザイングランプリTOHOKUは、プロのデザイナーとプロを目指している学生を対象に、グラフィックデザインの作品コンペを通して、互いのデザインの向上を目的とするものです。同時に、将来性のあるデザイナー育成の専門として、印刷産業界とデザイン関係界の活性化を支援することを目的としています。

本コンテストの学生部門に、ビジュアルデザイン科2・3年の学生が授業課題として応募し審査の結果、各賞に数名入賞しました。



《最優秀賞》
【中村誠賞】
ビジュアルデザイン科3年次
藤岡 真央



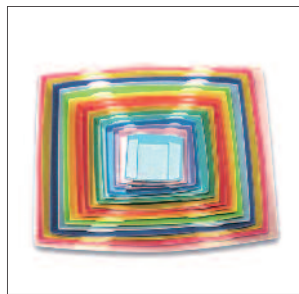
《優秀賞》
【MCCA賞】【オーディエンス大賞】
ビジュアルデザイン科3年次
中村 衣里



第24回紙わざ大賞

主催は、特種東海製紙株式会社。「紙わざ大賞」は、接着材や骨組みの他は、全て紙を使用して、紙という素材を追求し、紙の良さを広く知ってもらおう事を目的としています。全国公募のペーパーアートのコンペティションで、毎回プロの作家・デザイナーから、学生・主婦といったアマチュアまで幅広い作品が寄せられています。

応募総数306点の作品の中から、71点の入賞作品が選ばれ、ビジュアルデザイン科の芦沢拓郎さんが竹尾賞を受賞しました。また、入賞作品を展示する「第24回紙わざ大賞入賞作品展」が、2014年11月に銀座十字屋ホールにて開催されました。



《竹尾賞》
ビジュアルデザイン科1年次
芦沢 拓郎



第5回 SUWAラフダイヤモンド ジュエリーコンテスト2014

主催は、諏訪貿易株式会社。学生・社会人を問わず144名の応募があり、ジュエリーデザイン科17名が参加しました。1次審査で入賞3点に選ばれると、デザイン画をもとにプロが実制作をします。最終審査で見事、岩崎 麻祐さんが「最優秀賞」、北澤 幸脩さんと柳生 乃亜さんが「佳作」として入賞しました。



《最優秀賞》
ジュエリーデザイン科2年次
岩崎 麻祐



第2回 パールデザインコンテスト

ジュエリーデザイン科14名が参加しました。1次審査を通過した55作品による審査の結果、一般ジュエリー部門に鈴木 絵里香さん、和装ジュエリー部門に岩崎麻祐さん、デザイン画部門に高橋千明さんと鈴木勇作さんが入選しました。



《ジュエリー部門 入選》
ジュエリーデザイン科3年次
鈴木 絵里香

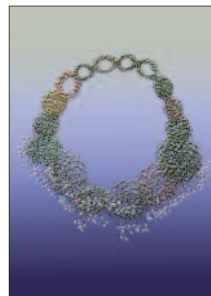


《和装ジュエリー部門 入選》
ジュエリーデザイン科2年次
岩崎 麻祐



2014年全国ジュエリー・ アクセサリーデザイン画コンテスト

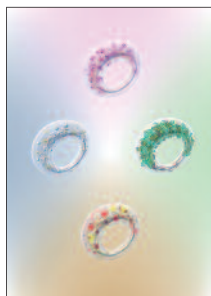
主催は、NPO法人宝飾クラフト教育振興会・日本宝飾クラフト学院。今回のテーマデザイン画部門は、「森に息づくジュエリー・アクセサリー」がテーマでした。ジュエリーデザイン科2年生と1年有志学生が応募し、岩崎 麻祐さんが「ウエタジュエラー賞」、鈴木勇作さんが「アクセサリーミュージアム賞」、長谷川温子さんが「相田化学工業賞」を受賞しました。また、他にも7名の学生が入選しました。



《ウエタジュエラー賞》
ジュエリーデザイン科2年次
岩崎 麻祐



《アクセサリーミュージアム賞》
ジュエリーデザイン科2年次
鈴木 勇作



《相田化学工業賞》
ジュエリーデザイン科2年次
長谷川 温子



第8回 宇和島パール デザインコンテスト

ジュエリーデザイン科2年11名が参加し、デザイン画による1次審査を通過した35作品が、実

作品を制作して最終審査の結果、6名が2次審査を通過して入選しました。



《入選》
ジュエリーデザイン科2年次
北澤 幸脩



第44回 伝統工芸日本金工展

日本金工展は、国内金属工芸の最高峰ともいわれ、全国の金工作家を対象とした公募展です。「21+（プラス）」部門の入選者27名の内、9名がジュエリーデザイン科の学生です。



《入選》
ジュエリーデザイン科3年次
福田 志穂



商業施設士・ 商業施設士補「資格」

年に一度行われる資格試験に、スペースデザイン科3年生が2年連続で全員合格しました。
※商業施設士とは…生活者が日常利用している商業施設の、運営管理システムや店舗の構成・デザインなどを総合的に計画し、監理まで行う優れた専門家です。
【本校は、受験資格を持つ認定校です】



研修旅行



ビジュアルデザイン科は、群馬県の沼田・渋川方面へ足を伸ばし、イチゴ狩り体験と、ハラミュージアムアーク・伊香保グリーン牧場の見学をしました。榛名山を背景に広がる緑の牧場と、それに隣接している美術館を観覧し、日常では触れることができない体験をすることができました。

▼ビジュアルデザイン科助手 井上 舞 記

スペースデザイン科は、群馬県富岡市にある世界文化遺産『富岡製糸場』と養蚕法の研究と指導を行っていた『高山社跡』（国指定史跡）を見学しました。二カ所の建造物から日本の近代化を牽引した歴史や絹産業の技術革新、海外との交流など当時の生活や



工夫などを垣間みる事が出来ました。
▼スペースデザイン科助手 福澤 清子 記

ジュエリーデザイン科は、青梅市にある澤乃井酒造、櫛かんざし美術館、玉堂美術館を見学し、お豆腐懐石を食べ、日本文化を堪能しました。お天気や自然にも恵まれ、みんな分け隔てなく笑顔で歩いている姿が印象的でした。

▼ジュエリーデザイン科助手 根岸 麻実 記



千草会 平成26年度会計報告

入学時に納めて頂きました千草会の終身会費について誌上で会計報告させていただきます。

前年度繰越金	¥4,726,716
収入	千草会費 ¥1,080,000
	利息 ¥849
	計 ¥1,080,849
支出	千草会会報 発行費	... ¥704,732
	千草会賞 ¥44,210
	運営費 ¥198,534
	その他 ¥17,646
	計 ¥965,122
次年度繰越金	¥4,842,443

『山脇女子奨学金のご案内』

ご親族が山脇に進学される場合、入学金の一部（5万円）を免除する「山脇女子奨学金」（他の奨学金との併用可）がございます。

※その他「特待生奨学金」（1年次の授業料全額免除）、推薦奨学金（1年次の授業料から31～10万円を免除）などございます。ご親族にデザイン分野への進学を希望される方がおられましたら、山脇を是非ご紹介ください。

就職について

平成26年度（27年3月卒業生）の内定率は88%でした。ジュエリーデザイン科、スペースデザイン科は2年連続、100%、ビジュアルデザイン科は80%の好成績でした。卒業後4月早々に決定した学生もいましたので、全体で実質的には90%を超えたと言いたいところです。2年制の頃と比較すると格段の相違です。3年制の成果と言って良いでしょう。

学生ひとり一人に語りつくせない様々なドラマがありました。

平成27年度も5月19日に早くも2名の内定通知をいただきました。

卒業生からも相談を受けます。学校案内書には「卒業生の転職相談も支援します。なぜなら、卒業生は永遠に『山脇の卒業生』だからです。」とあります。これからも、教職員「一枚岩」となって在学生、卒業生のために力を尽くしてまいります。

ビジュアルデザイン科



グラフィックデザインとWebデザインの両方を軸に「仕事に直結する授業」を行っています。イラストレーションや動画などの派生講座も充実。「発想力・企画力・コミュニケーション力を鍛える」課題も多数あり、時代のニーズに対応できるスキルが身に付きます。ビジュアルデザイン科の3年間には、デザインセンスや感性も磨ける、多角的な授業が詰まっています。



学院は平成27年11月に創立86年を迎えます。これからも特色あるデザインの専門学校として邁進していく所存でございますので、今後とも入学・就職において、同窓の皆様からのご協力を宜しくお願い致します。

**建学の精神の「真・善・美」に基づいた
専門性と人間力を養う教育で
一人ひとりの可能性を引出します**

「個々を大切にする教育」

1クラス15～20名の個別サポート

「3年制のデザイン専門学校」

就職に直結したカリキュラム

「最高の学習環境」

一人ひとりに専用の作業机、ノートパソコン支給

「コンペ実績」

毎年、多数のコンペに入賞実績

「充実した就職サポート」

サポートプログラムが充実、就職率100%を目指します

スペースデザイン科

住宅から、レストラン、ブティックなどの商業施設、快適に暮らすために必要な家具や照明などのインテリアエレメントまで幅広く学び、それぞれのニーズに最適な空間をデザインするスキルを身に



付けます。実務に不可欠な構造、構法、材料、設備、法律、施行等の知識も必修科目で学び、卒業と同時に二級建築士の受験が可能です。在学中に商業施設士補、商業施設士の資格取得を目指します。



ジュエリーデザイン科



ジュエリー制作の基礎技術から本格宝飾造形技術まで一貫したカリキュラムで学びます。段階を追って多くの制作課題をこなすことで、初心者でも確かな技術を身につけることができます。平成26年度も就職率100%を達成し、2年連続で全員就職となりました。

「手から手へ」技術を伝える距離感を大切にし、様々な技法・表現力を積み上げていく教育で、付加価値の高い技術とデザインセンスを併せ持つハイレベルなクリエイターを目指します。



※平成28年度に向けて、学校案内書をご希望の方にはご送付致します。

ホームページ アドレス <http://yamawaki.ac.jp/> 山脇ニュースやブログなど見所も沢山あります。

お知らせ

山脇祭

【開 期】平成27年9月5日(土)～6日(日) 10:00～17:00
 【テーマ】『mar-made』(マーメイド)
 【コメント】山脇の学生達が作り上げた海(mar)の中で、モノ作り(made)や自己表現の楽しさを感じられる山脇祭です。飲食やオリジナルグッズの販売に加え、今回のテーマに合わせワークショップも行います。ジュエリーショーや来場者参加型イベントも予定。ご来場お待ちしております。

SEBIT2016 東京都専門学校アート&デザイン展

【開 期】平成28年2月22日(月)～28日(日) 9:30～17:30(初日は14:00会場・最終日は13:00閉館)
 【開催場所】東京都美術館(ロビー階第1・2展示室)
 【コメント】(旧称)専門学校美術展から名称が新しくなりました「SEBIT」(セビットと呼んで下さい)。都内のデザイン・アート系専門学校が参加。今年も各校の力作が展示されます。見応えある展覧会です。是非とも、皆様のご来場をお待ちしています。

卒業・進級制作展

【開 期】平成28年3月2日(水)～6日(日) 11:00～19:00(最終日は17:00まで)
 【開催場所】山脇ギャラリー
 【コメント】3年生は卒業制作を展示、1・2年生は1年間の集大成として進級制作の作品を展示します。学生たちの力のこもった作品を是非ご覧いただき、アドバイス・コメントを宜しくお願い致します。皆様お誘いの上ご来場下さい。

山脇ギャラリーより 《これからの展示予定》

「卒業生の展示案内」
 《展示会名称》アートフェア展
 《展示期間》12月15日(火)～21日(月)
 《展示時間》初日 14:00～17:00、最終日 14:00～17:00

- 日本ワイルドライフアート協会展 9月11日(金)～9月17日(木)
- 歩展 9月19日(土)～9月28日(月)
- 第28回 バスケター展 9月29日(火)～10月5日(月)
- 清水要 展(元ビジュアルデザイン科講師) 10月6日(火)～10月13日(火)
- ササキマサコ ボタニカルアートグループ展 10月15日(木)～10月21日(水)
- 第11回 日本イラストレーター協会展 10月22日(木)～10月28日(水)
- 第26回 全日本高校デザイン・イラスト展 11月14日(土)～11月18日(水)
- 地球はともだちオリジナルカレンダー展+環境ポスター展 11月24日(火)～11月30日(月)

☆日・祝 休館

☆通常の開館時間は11:00～18:00ですが、展示初日と最終日は時間が異なる場合がありますので、お問い合わせ下さい。山脇ギャラリー TEL 03-3264-4027

☆制作活動をされている方で作品発表の場所を御探しの際は、山脇ギャラリーをご利用されてはいかがでしょうか。会員の方の参加をお待ちしております。

千草会 会報 平成27年8月 第54号
 発行 山脇美術専門学校 同窓会
 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21
 電話 03-3264-4020(学院窓口)

- 千草会役員
- 会長 片桐 清子 洋裁師範科卒
 - 副会長 荻沢 梓 デザイナー科卒
 - 監事 太田 律子 コスチュームデザイン科卒
 - 学内代表幹事 篠原美代子 コスチュームデザイン科卒
 - 幹事 福澤 清子 スペースデザイン科助手
 - 小林 萌 ビジュアルデザイン科卒
 - 中村 衣里 ビジュアルデザイン科卒
 - 白井 宏仁 スペースデザイン科卒
 - 中田 智巳 スペースデザイン科卒
 - 大島 彩瑛 ジュエリーデザイン科卒
 - 福田 志穂 ジュエリーデザイン科卒
 - 篠原 一郎 専任
 - 桐井 英明 専任
 - 大島佐和子 ビジュアルデザイン科
 - 井上 舞 ビジュアルデザイン科
 - 杉山 千尋 ジュエリーデザイン科
 - 根岸 麻実 ジュエリーデザイン科

- 就任された先生
- 浅井 飛人 ビジュアルデザイン科
 - 石田 顕之 ビジュアルデザイン科
 - 菊井 勢子 ビジュアルデザイン科
 - 堀口 武士 スペースデザイン科
 - 山本 真也 スペースデザイン科
 - 退任された教職員
 - 佐藤 未来 ビジュアルデザイン科助手
 - 遠藤裕喜奈 ビジュアルデザイン科助手
 - 角田 尚美 ビジュアルデザイン科助手
 - 木村 晶代 ジュエリーデザイン科助手
 - 就任された教職員
 - 井上 舞 ビジュアルデザイン科助手
 - 根岸 麻実 ジュエリーデザイン科助手

講師・教職員異動報告